旧香流苑土地利用に関する意見交換会（第8回）

本日のテーマ

【ふりかえり】

【土地利用計画書（案）について】
・土地の形状
・市有地のゾーンの考え方について

【次回、開催案内】
・ご意見・ご質問

樹木有識者のご紹介

北岡　明彦氏

名古屋大学農学部林学科卒。現在は、日本自然保護協会の**自然観察指導員**として、自然の不思議さや楽しさを体感できる観察会を様々な場所で開催している。

　植物・野鳥・林業などへ得意分野を広げ、周りから**歩く博物館**と呼ばれています。

前回の意見交換会での意見(1/2)

【売却・財政について】

- 長久手市は万博、ジブリ、みどりの条例もあり、緑に対する保全について気を使ってきた市町なので公募選定時にそのような考え方の**事業者にインセンティブ**を与えてほしい。
- **保存樹木**に補助金、公開空地、固定資産税の減免等を募集要項でお願いしたい。
- 南側の通行路について、**上川原地区へ「交通上の影響がない範囲で」という公募条件**を明示すると良い。10年前の平和堂への通行を止めた件のようにならないように。
- **できるだけ高く売ってほしい**ので、井戸も市有、売却地の樹木は高く売るためにできるだけ伐採、特に北側道路の高木も管理が大変ということなので売却で良いと思う。
- 大規模マンションができたとき、住環境は悪化した。今回、二方向道路付きの形状案を示されたが、今までの案と異なり、**新たに車の出入りが生じることに危惧**している。
- 提案を期待したいというのは、業者任せで甘くないか。市で条件設定をすべきである。

【緑地保全・環境について】

- 地盤の安全面について問題ないということで良いか。
- **枝折れて死亡事故起こしたのは、クスノキ**
- クスノキについては、樹齢が長く、根も強い。鶴舞公園等15mの樹木はざらにあり、決して危険な樹木ではない。ただし、事業者の管理費が高い事実はあり、インセンティブをつけることに市のアイデンティティを出してはどうか。
- 緑を残すことのできる3箇所について、残し方や何㎡残すとか、はっきりしているか。

前回の意見交換会での意見(2/2)

【緑地管理について】

- ボランティアは縮小する一方。樹木は都心用に改良されたと言っても、どんどん倒れ、高木の維持管理は、とてもかかる。今だけでなく、次世代の人が気持ちよく利用していくことを検討すべき。
- 小学校の運動会の声がうるさい、夏休みのラジオ体操もうるさい、公園が先にあったのに後から入った住民にクレームを受け、子どもたち外で遊べない。うるさいと言われる。今までのボランティアの担い手は60代だったが、今や、ようやく70代の人が出て来られるかという状況である。草刈りとか公園の手入れとか、それができるのか疑問。これからの公園は、手のかからない緑地にしていかないと。植えただけではダメで、3か月ごとに手入れがいる。整備したとして、それを誰かに任せるときの負担とか、費用とかを考えなければいけない。

【スケジュールについて】

- 何が来るかによって緑地の用途が変わってくる。何がほしいどうこうの前に、子どもの遊べる案を選択していくべきである。いくつか案をもっていた方が良いのではないか。早すぎるとマッチしないのではないか。
- 残す土地をどのように使うかについては、もう少し時間をかけて良いのではないか。公園をつくるとか、そのまま使うとか、まだ意見が分かれており、まだ売却がどうなるかわからない。

前回の意見交換会後の意見について(1/2)

1, 公園の遊具、使い道などについて、実際に利用するであろう子どもたちの意見を聞きながら、作っていけないか？長久手市では子ども条例を作ろうとしている中で、子どもの声でできた公園があってもよいと思う。子どもたにとって、どんな公園が望ましいのか、大人が耳を傾ける機会になったらいいと思いました。

　井戸のことも、広場のことも、いろんなことが話し合って決まっていき、気がついたら公園ができていた、ではなく、いつだって作り途中で、そのときどきで、変化できるような場にすることはできないでしょうか？

　敷地内の樹木一本の枝が、切り取られるというとり、へし折られているようで、なんだか痛々しい景色でした。そういう感性の方がおかしいのかと思いつつ、樹木の声やそこにすむ生物たちの声にも耳を傾け、きれいに整備されたもの、合理的であるもの、経費がかからないものを優先するのではなく、手間暇かけて、地域みんなで作り上げていく場になったらステキだと思いました。

　昭和生まれの方々は、整備されてない空き地で遊んだ人たちも多いと思います。今は、空き地はもちろん、秘密基地を作るような場もなく、子どもの遊びの幅が狭くなっているように感じます。今の子どもたちに、どんな原風景を刻んでいこうとしているのか、大人として、しっかり考えていきたいと思います。

2, 2月15日の現地視察には第7回で示された、売却部分との境界をアバウトで良いから示していただくとイメージしやすいのでお願いしたいと思います。

　更に、非売却部分の樹種はクスノキ、モッコク、クロガネモチ、キンモクセイなどだと思いますが、それぞれの代表する樹木にネームを貼ってもらえればと思います。また、3部からの会議にはそれぞれの樹種の特徴などあれば話し合いの有効だと思います。

前回の意見交換会後の意見について(2/2)

3, クスノキはこの森の代表する樹木で枝払いや間引きは森の環境を維持する上で仕方ないができるだけ残して欲しい。榎(エノキ)が良いと言われていたが、敢えて新たな樹木を植える必然性を感じない。今でも鳥類は多様で多くの鳥が棲息している。モッコクの実が餌になっているのだろうと考えられますが、全体の森が半分以下になってしまい動植物の変化は大きいと思う。

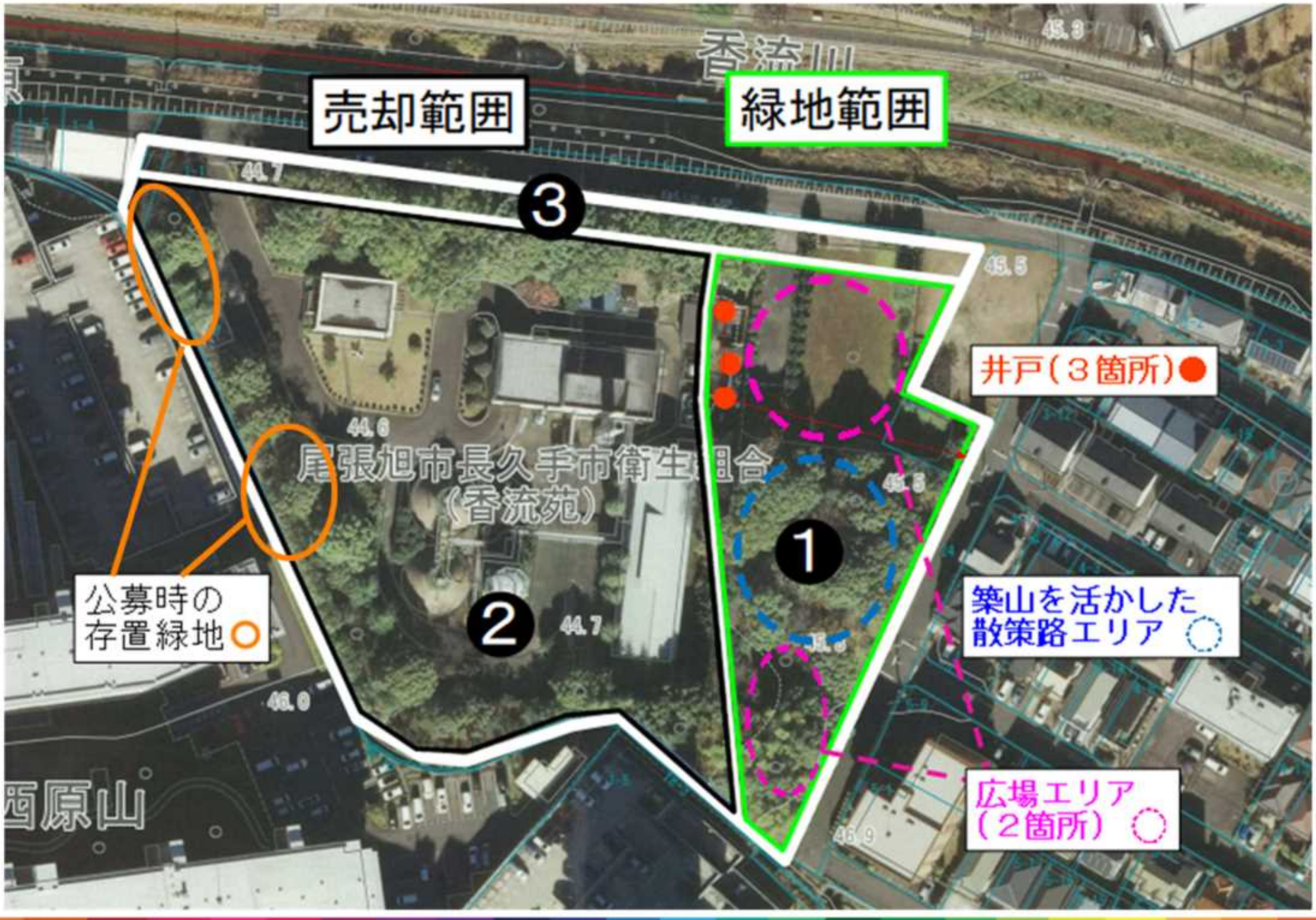
4, ワークショップに参加させていただきました。マンションに住んでいる方と、上川原に住んでいる方ではそもそもの住環境が違うので、一緒のグループにしても論点が違ってくるし、人の意見にはあまり興味がないと思います。結局発表する人の意見が中心になるので、自分の意見は発表されませんでした。テーブルについた市役所の方が出た意見をまとめて発表するか、グループ分けを考えたほうがいいのではないでしょうか。

私の意見としては、南東側の出入り口の設置には反対です。上川原地区を抜け道として利用する自動車が増えることや、マンションと公園ができると仮定して、新しい道路側からも公園に入れるのならば新しいマンションの為の公園になってしまいそうだからです。

北側道路の拡幅はいいですが、そこから東側の整備はどうなるのでしょうか？それこそ完全な抜け道で、スピードも出せるので急に細くなると危険です。9メートルの拡幅は橋の近くだけでいいのではないでしょうか？上川原地区で大きな事故がないことを祈っています。マンション建築には基本的には反対ですが、近隣住民への配慮があればやむを得なく思います。矢野コンクリートの跡地にマンションができてからは冬のこの時期になると、以前より暗くなるのが早くなった気がします。小中学校のことも考えてマンション作るならば低層としてください。また街路灯やカーブミラーの的確な設置をお願いします。

2月15日は用事があって行けませんので、意見させていただきました。色々な意見があると思いますが、後世の人達に誇れるような選択をしていただきたいです。

別紙1、2をご覧ください



ご意見・ご質問

開催日程が決まりましたら
↓市公式ライン・市公式メールで配信します

市公式ラインと
市公式メールの配信

※次回、開催のお知らせを
はじめ市のイベント情報を受
け取ることができます。

本日意見交換会の
ご意見・ご質問は
こちらから

2/28（金）〆切